



2017年度（第7期）  
事業報告書  
（2017年4月～2018年3月）



ハイライト

---

# 事業の全体像

当初の事業計画で掲げた事業展開の方針に基づき、複数の事業を実施した。  
新規事業として新たに5事業を展開した。

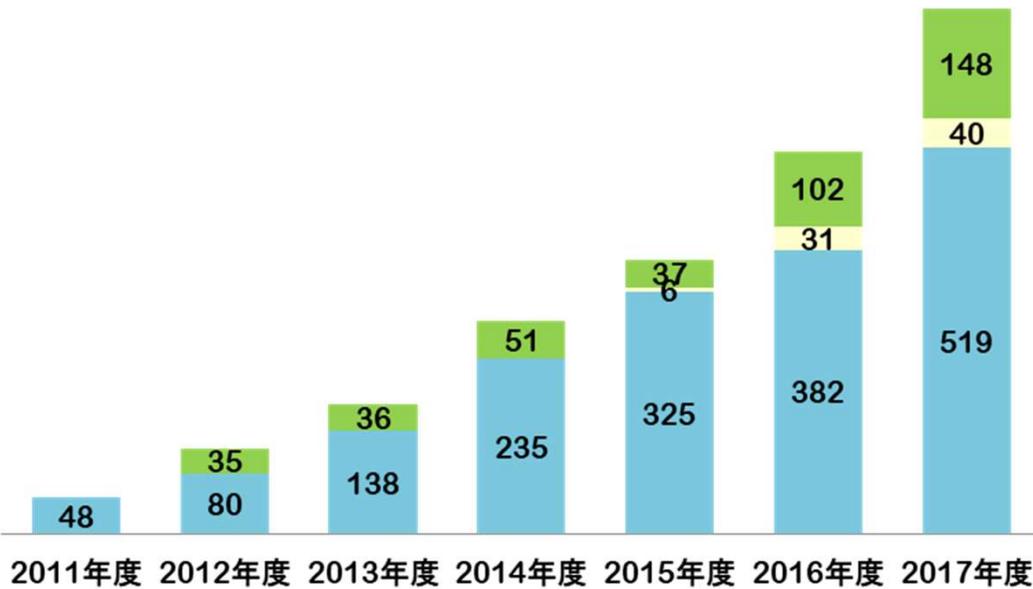
分類	事業分類	事業名	変更点等
直接支援系	まなびサポート	仙台市学習・生活サポート事業	
		仙台市中退等未然防止事業	新規事業
		岩沼市学習支援事業	
		宮城県子どもの学習支援事業（仙南・宮城黒川圏域）	新規事業
		白石市子どもの学習等支援事業	新規事業
	フリースクール	フリースクール	
	こども食堂	多賀城こども食堂	
	保護者サポート	仙台市ひとり親家庭生活支援講習会事業	
中間支援系	居場所	塩竈アフタースクール事業	新規事業 ※基礎調査は2016年度実施
	学習支援	モデル移転事業	
	人材育成	ユースソーシャルワークみやぎ	新規事業 ※外部団体との連携事業

# 受益者数・拠点数の推移

受益者数、拠点数ともに年々増加している。

### 受益者数（子ども）の推移 （人）

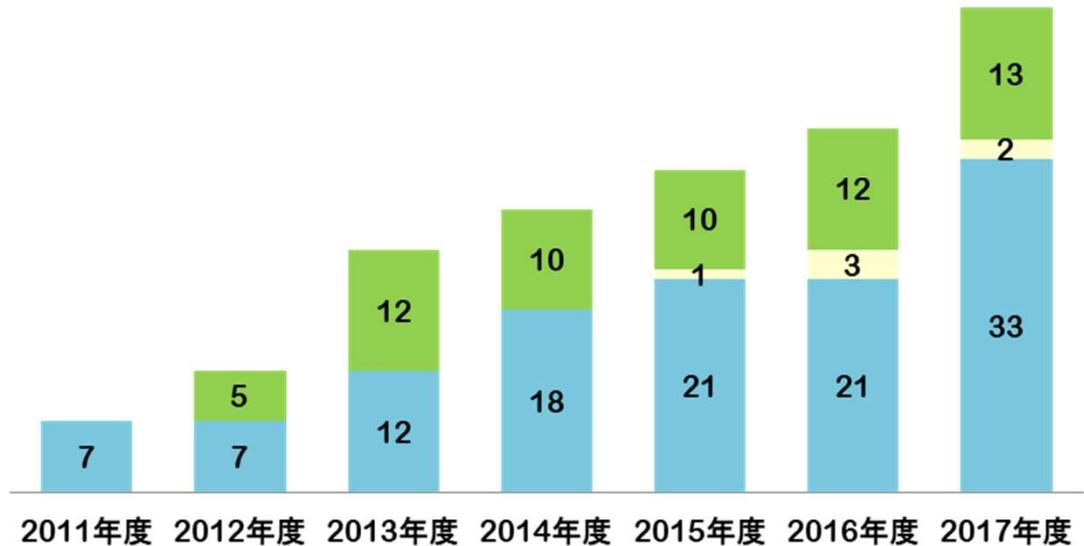
■ 学習支援 ■ フリースクール他 ■ モデル移転



- ✓ 仙台市高校中退等予防事業、宮城県学習支援、白石市学習支援の拠点が追加され、大幅増となった
- ✓ フリースクールの利用者も増加傾向にある。

### 拠点数の推移 （ヶ所）

■ 学習支援 ■ フリースクール等 ■ モデル移転

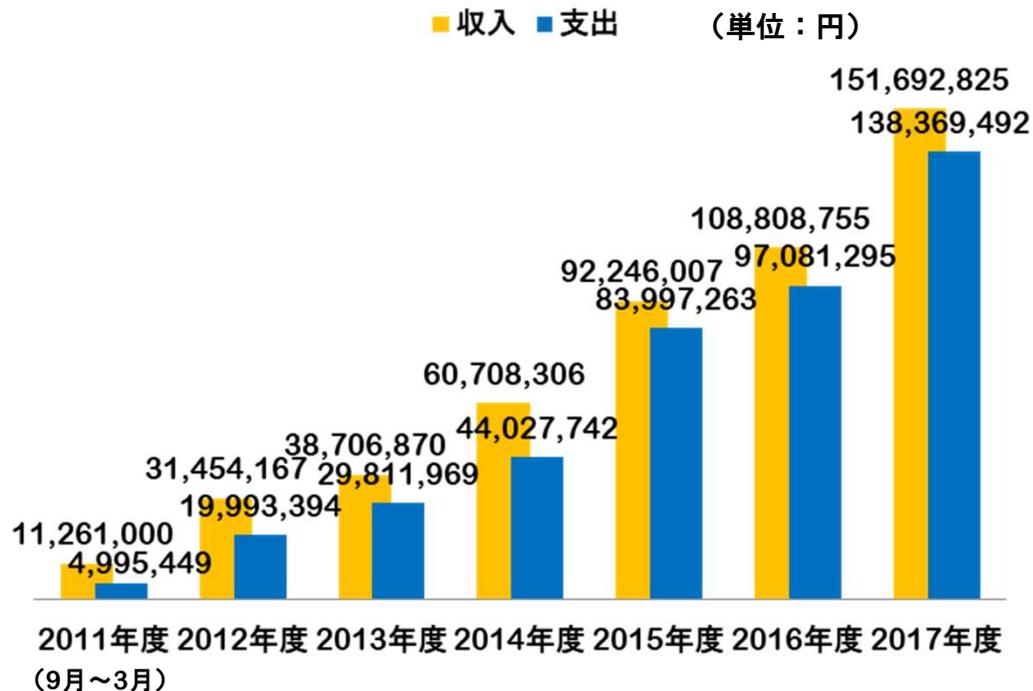


- ✓ 仙台市高校中退等予防事業、宮城県学習支援、白石市学習支援の拠点が追加され、大幅増となった。

# 収支・収益構造の推移

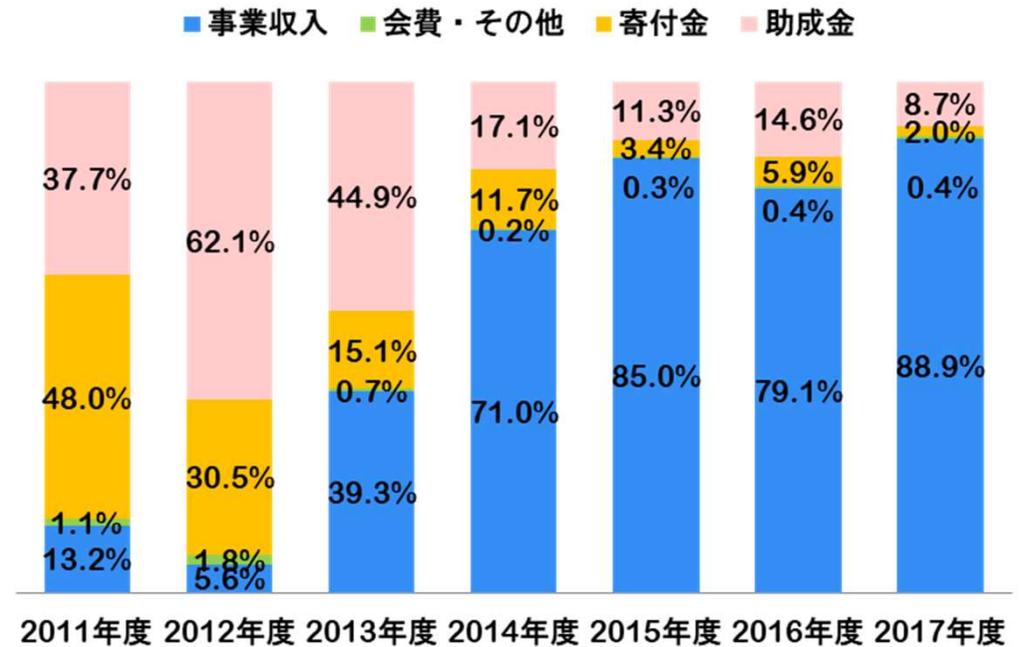
年々事業規模は拡大を続けているが、財務面での持続可能性は高い水準を維持している。

### 収支の推移



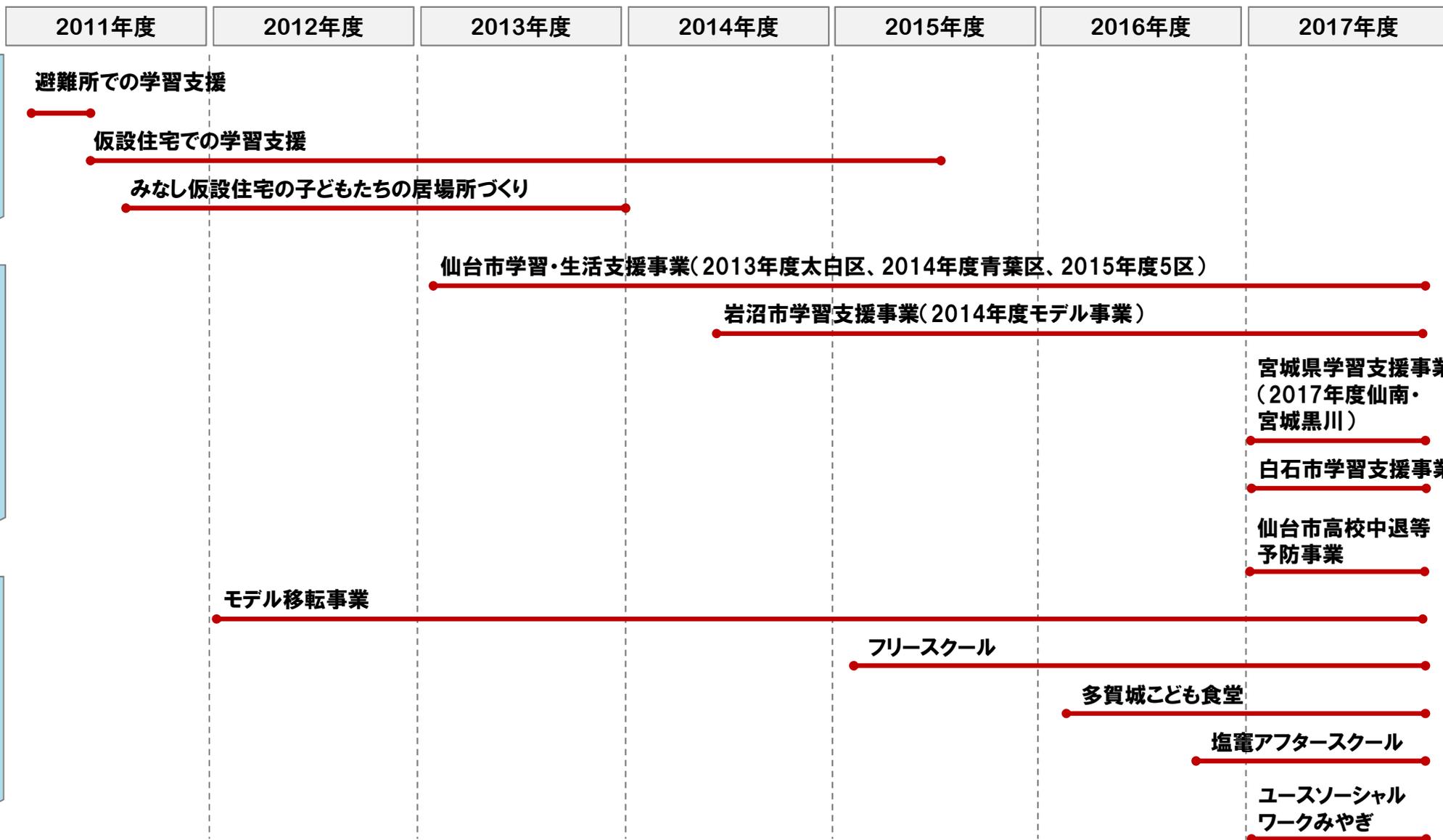
✓ 収入は対前年度比139%であり、過去最大の事業規模となった。

### 収益構造の推移



✓ 9割近くが事業収入比率であり、財務的な安定性を維持している。

✓ ただし、生活困窮者自立支援制度に基づく学習支援（委託事業）が中心であるため、事業・収益源の多様化の面では課題が残る。



## 事業詳細

---

観点	要素	指標	定義	測定方法	2017年度 目標値	2017年度 実績	
アウトプット	教室運営 (量的側面)	拠点開設数	何ヶ所の拠点(教室)を開設したか	---	20ヶ所	20ヶ所	
		参加者数	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	400人	321人	
		カバー率	事業実施地域の対象者をどれだけカバーしたか	参加者数/地域内対象人数	約17%	約20%	
		開催回数	延べ何回(日)の活動を行なったか	記録表による集計	1900回	1,906回	
		開催時間	延べ何時間の活動を行なったか	記録表による集計	5700時間	5,718時間	
		出席率	子どもがどれだけ継続的に参加したか	実際の参加日/参加申込日	70%	69%	
	教室運営 (質的側面)	休止率	どの程度の参加者が途中で休止したか	参加者リストへの記録	20%	34%	
		途中退会率	どの程度の参加者が途中で退会したか	参加者リストへの記録	2.5%	3%	
		参加ボランティア数	何人のボランティアが参加したか	ボランティアリストによる集計	200人	322人	
	ボランティア	研修会開催回数	ボランティア・スタッフ向けのフォローアップ研修会を何回開催したか	記録表による集計	4回	4回	
		研修会参加人数	延べ何人のボランティア・スタッフが研修会に参加したか	記録表による集計	延160人	228人	
		体験プログラム	プログラム開催回数	体験プログラムをいくつ開催したか	記録表による集計	6プログラム	12プログラム
	保護者支援	プログラム参加人数	何人の子どもがプログラムに参加したか	記録表による集計	90人	247人	
		保護者の面談件数	保護者に対して、何件の面談を行なったか	記録表による集計	600件	775件	
保護者支援	専門サポートへのつなぎ件数	面談の結果から、何件のケースを適切な専門サポートにつないだか	記録表による集計	20件	63件		
	学力・学歴	高校進学率	どの程度の割合が高校に進学したか	高校進学者数/参加者数(中学3年生のみ)	100%	99%	
基礎学力		参加者の基礎学力がどの程度高まったか	参加時の学力診断テストの結果/期末時点の学力診断テストの結果	英語:10点 数学:10点	英語:7.1点 数学:7.2点		
アウトカム	自尊心・意欲	学習意欲	参加したことで、学習、自己成長に対する意欲が高まったか	参加者アンケート (肯定回答割合)	70%	82%	
		努力意欲	参加したことで、努力したら報われるという意識が高まったか		70%	74%	
	ソーシャルスキル	社会規範	参加したことで、ルールやマナーを守る意識が高まったか		70%	79%	
		コミュニケーション力	参加したことで、多様な人とコミュニケーションする自信が高まったか		70%	75%	
	福祉依存	自立への意欲	参加したことで、経済的な自立をしようという意識が高まったか		70%	77%	
	文化資本	進学への意欲	参加したことで、高校に進学しようという意識が生まれたか		70%	87%	
	健康状態・生活リズム	精神状態の改善	参加したことで、学校や生活の悩みが軽くなったか		70%	72%	
		生活習慣の改善	参加したことで、規則正しい生活ができるようになったか		50%	65%	
	社会への信頼	他者への信頼	参加したことで、人や社会への信頼感が高まったか		70%	70%	
	ロールモデル	ロールモデル	スタッフやボランティアなどに、目標やあこがれとなる人が見つかったか		50%	75%	
	保護者との関係	関係性	参加したことで、親子の関係性が良くなったか		参加者アンケート・保護者アンケート	参加者:60% 保護者:60%	参加者:56% 保護者:50%
		将来の話し合い	参加したことで、将来について話し合う機会が増えたか		保護者アンケート	60%	57%
	保護者のストレス	子育てのストレス	参加したことで、子育ての負担感が減ったか			70%	70%
		存在の受容	一人一人が大切にされたと感じているか		参加者アンケート	70%	89%
満足度	活動への満足度	参加してよかったと感じているか	参加者アンケート・保護者アンケート	参加者:90% 保護者:90%	参加者:95% 保護者:90%		
	サポートへの満足度	スタッフ・ボランティアは適切なかかわり方や信頼関係の構築ができたか		参加者:90% 保護者:90%	参加者:93% 保護者:87%		

観点	要素	指標	定義	測定方法	目標値	実績
アウトプット	教室運営 (量的側面)	拠点開設数	何ヶ所の拠点(教室)を開設したか	---	3ヶ所	3ヶ所
		参加者数(拠点)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	60人	46人
		参加者数(訪問支援)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	1人	1人
		開催回数	延べ何回(日)の活動を行なったか	記録表による集計	250回	237回
		開催時間	延べ何時間の活動を行なったか	記録表による集計	750時間	711時間
	教室運営 (質的側面)	サポート参加延人数	延べ何人がサポートに参加したか	記録表による集計	次年度設定	1,156人
		途中退会率	どの程度の参加者が途中で退会したか	参加者リストへの記録	2.5%	0%
アウトカム	学力・学歴	高校中退率	どの程度の割合が高校を中退したか	中退者数/登録者数(高校年代)	3%	2%
		高校中退者の社会的自立率	中退した高校生の何割が教育機関、就労支援機関、福祉施設等の社会資源につながったか	社会資源へのつながり数/中退者数	100%	100%

参加者数は当初の計画通りをやや上回った。全体的に目標値通りの結果が得られた。

観点	要素	指標	定義	測定方法	実績	目標値	
アウトプット	教室運営 (量的側面)	拠点開設数	何ヶ所の拠点(教室)を開設したか	---	1ヶ所	1ヶ所	
		参加者数(拠点)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	46人	40人	
		参加者数(訪問支援)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	3人	2人	
		カバー率	事業実施地域の対象者をどれだけカバーしたか	参加者数/地域内対象人数	後日設定	後日設定	
		開催回数	延べ何回(日)の活動を行なったか	記録表による集計	194回	200回	
		開催時間	延べ何時間の活動を行なったか	記録表による集計	559時間	600時間	
	教室運営 (質的側面)	出席率	子どもがどれだけ継続的に参加したか	実際の参加日/参加申込日	67.5%	70%	
		休止率	どの程度の参加者が途中で休止したか	参加者リストへの記録	26%	20%	
		途中退会率	どの程度の参加者が途中で退会したか	参加者リストへの記録	2%	2.5%	
	ボランティア	参加ボランティア数	何人のボランティアが参加したか	ボランティアリストによる集計	15人	10人	
		研修会開催回数	ボランティア・スタッフ向けのフォローアップ研修会を何回開催したか	記録表による集計	4回	4回	
		研修会参加人数	延べ何人のボランティア・スタッフが研修会に参加したか	記録表による集計	24人	16人	
	体験プログラム	プログラム開催回数	体験プログラムをいくつ開催したか	記録表による集計	7プログラム	6プログラム	
		プログラム参加人数	何人の子どもがプログラムに参加したか	記録表による集計	25人	30人	
保護者支援	保護者の面談件数	保護者に対して、何件の面談を行なったか	記録表による集計	108人	---		
	専門サポートへのつなぎ件数	面談の結果から、何件のケースを適切な専門サポートにつないだか	記録表による集計	13人	---		
アウトカム	学力・学歴	高校進学率	どの程度の割合が高校に進学したか	高校進学者数/参加者数(中学3年生のみ)	91% (実質100)	100%	
		高校中退率	どの程度の割合が高校を中退したか	中退者数/登録者数(高校年代)	7%	3%	
		高校中退者の社会的自立率	中退した高校生の何割が教育機関、就労支援機関、福祉施設等の社会資源につながったか	社会資源へのつなぎ数/中退者数	100%	100%	
		基礎学力	参加者の基礎学力がどの程度高まったか	参加時の学力診断テストの結果/期末時点の学力診断テストの結果	英語: 8.6点 数学: 11.6点	英語: 10点 数学: 10点	
	自尊心・意欲	学習意欲	参加したことで、学習、自己成長に対する意欲が高まったか	参加者アンケート (肯定回答割合)	76%	70%	
		努力意欲	参加したことで、努力したら報われるという意識が高まったか		79%	70%	
	ソーシャルスキル	社会規範	参加したことで、ルールやマナーを守る意識が高まったか		72%	70%	
		コミュニケーション力	参加したことで、多様な人とコミュニケーションする自信が高まったか		71%	70%	
	福祉依存	自立への意欲	参加したことで、経済的な自立をしようという意識が高まったか		69%	70%	
	文化資本	進学への意欲	参加したことで、進学しようという意識が生まれたか		66%	70%	
		健康状態・生活リズム	精神状態の改善		参加したことで、学校や生活の悩みが軽くなったか	69%	70%
	社会への信頼	生活習慣の改善	参加したことで、登校日数が増えたり、規則正しい生活ができるようになったか		48%	50%	
		他者への信頼	参加したことで、人や社会への信頼感が高まったか		62%	70%	
	ロールモデル	ロールモデル	スタッフやボランティアなどに、目標やあこがれとなる人が見つかったか		59%	50%	
	保護者との関係	関係性	参加したことで、親子の関係性が良くなったか		参加者アンケート・保護者アンケート	参加者: 42% 保護者: 54%	参加者: 60% 保護者: 60%
		将来の話し合い	参加したことで、将来について話し合う機会が増えたか		保護者アンケート	61%	60%
	保護者のストレス	子育てのストレス	参加したことで、子育ての負担感が減ったか		保護者アンケート	69%	70%
		存在の受容	一人一人が大切にされたと感じているか		参加者アンケート	86%	70%
	満足度	活動への満足度	参加してよかったと感じているか		参加者アンケート・保護者アンケート	参加者: 94% 保護者: 100%	参加者: 90% 保護者: 90%
サポートへの満足度		スタッフ・ボランティアは適切なかかわり方や信頼関係の構築ができたか	参加者: 93% 保護者: 93%			参加者: 90% 保護者: 90%	

観点	要素	指標	定義	測定方法	実績	目標値	
アウトプット	教室運営 (量的側面)	拠点開設数	何ヶ所の拠点(教室)を開設したか	---	8ヶ所	8ヶ所	
		参加者数(拠点)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	86人	152人	
		参加者数(訪問支援)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	2人	8人	
		カバー率	事業実施地域の対象者をどれだけカバーしたか	参加者数/地域内対象人数	後日設定	後日設定	
		開催回数	延べ何回(日)の活動を行なったか	記録表による集計	310回	307回	
		開催時間	延べ何時間の活動を行なったか	記録表による集計	926時間	1,075時間	
	教室運営 (質的側面)	出席率	子どもがどれだけ継続的に参加したか	実際の参加日/参加申込日	78%	70%	
		休止率	どの程度の参加者が途中で休止したか	参加者リストへの記録	12%	20%	
		途中退会率	どの程度の参加者が途中で退会したか	参加者リストへの記録	2%	2.5%	
	ボランティア	参加ボランティア数	何人のボランティアが参加したか	ボランティアリストによる集計	13人	24人	
		研修会開催回数	ボランティア・スタッフ向けのフォローアップ研修会を何回開催したか	記録表による集計	4回	4回	
		研修会参加人数	延べ何人のボランティア・スタッフが研修会に参加したか	記録表による集計	15人	24人	
	体験プログラム	プログラム開催回数	体験プログラムをいくつ開催したか	記録表による集計	7プログラム	6プログラム	
		プログラム参加人数	何人の子どもがプログラムに参加したか	記録表による集計	33人	60人	
保護者支援	保護者の面談件数	保護者に対して、何件の面談を行なったか	記録表による集計	199件	---		
	専門サポートへのつなぎ件数	面談の結果から、何件のケースを適切な専門サポートにつないだか	記録表による集計	22件	---		
アウトカム	学力・学歴	高校進学率	どの程度の割合が高校に進学したか	高校進学者数/参加者数(中学3年生のみ)	100%	100%	
		高校中退率	どの程度の割合が高校を中退したか	中退者数/登録者数(高校年代)	---	3%	
		高校中退者の社会的自立率	中退した高校生の何割が教育機関、就労支援機関、福祉施設等の社会資源につながったか	社会資源へのつなぎ数/中退者数	---	100%	
		基礎学力	参加者の基礎学力がどの程度高まったか	参加時の学力診断テストの結果/ 期末時点の学力診断テストの結果	英語:7.1点 数学:9.8点	英語:10点 数学:10点	
	自尊心・意欲	学習意欲	参加したことで、学習、自己成長に対する意欲が高まったか	参加者アンケート (肯定回答割合)	87%	70%	
		努力意欲	参加したことで、努力したら報われるという意識が高まったか		77%	70%	
	ソーシャルスキル	社会規範	参加したことで、ルールやマナーを守る意識が高まったか		91%	70%	
		コミュニケーション力	参加したことで、多様な人とコミュニケーションする自信が高まったか		73%	70%	
	福祉依存	自立への意欲	参加したことで、経済的な自立をしようという意識が高まったか		71%	70%	
		文化資本	進学への意欲		参加したことで、進学しようという意識が生まれたか	77%	70%
	健康状態・生活リズム	精神状態の改善	参加したことで、学校や生活の悩みが軽くなったか		45%	70%	
		生活リズム	参加したことで、登校日数が増えたり、規則正しい生活ができるようになったか		43%	50%	
	社会への信頼	他者への信頼	参加したことで、人や社会への信頼感が高まったか		61%	70%	
		ロールモデル	ロールモデル		スタッフやボランティアなどに、目標やあこがれとなる人が見つかったか	71%	50%
	保護者との関係	関係性	参加したことで、親子の関係性が良くなったか		参加者アンケート・保護者アンケート	参加者:40% 保護者:55%	参加者:60% 保護者:60%
		将来の話し合い	参加したことで、将来について話し合う機会が増えたか			61%	60%
	保護者のストレス	子育てのストレス	参加したことで、子育ての負担感が減ったか		保護者アンケート	67%	70%
		存在の受容	一人一人が大切にされたと感じているか		参加者アンケート	91%	70%
	満足度	活動への満足度	参加してよかったと感じているか		参加者アンケート・保護者アンケート	参加者:97%	参加者:90%
サポートへの満足度		スタッフ・ボランティアは適切なかかわり方や信頼関係の構築ができたか	保護者:92%			保護者:90%	
			参加者:94%			参加者:90%	

ほとんどの指標において、当初の目標値通りの結果となった。

観点	要素	指標	定義	測定方法	実績	目標値	
アウトプット	教室運営 (量的側面)	拠点開設数	何ヶ所の拠点(教室)を開設したか	---	1ヶ所	1ヶ所	
		参加者数(拠点)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	17人	20人	
			参加者数(訪問支援)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	0人	2人
		カバー率	事業実施地域の対象者をどれだけカバーしたか	参加者数/地域内対象人数	---	後日設定	
		開催回数	延べ何回(日)の活動を行なったか	記録表による集計	130回	100回	
		開催時間	延べ何時間の活動を行なったか	記録表による集計	203時間	300時間	
	教室運営 (質的側面)	出席率	子どもがどれだけ継続的に参加したか	実際の参加日/参加申込日	68.3%	70%	
		休止率	どの程度の参加者が途中で休止したか	参加者リストへの記録	8%	20%	
		途中退会率	どの程度の参加者が途中で退会したか	参加者リストへの記録	5%	2.5%	
	ボランティア	参加ボランティア数	何人のボランティアが参加したか	ボランティアリストによる集計	6人	10人	
		研修会開催回数	ボランティア・スタッフ向けのフォローアップ研修会を何回開催したか	記録表による集計	4回	4回	
		研修会参加人数	延べ何人のボランティア・スタッフが研修会に参加したか	記録表による集計	4人	16人	
	体験プログラム	プログラム開催回数	体験プログラムをいくつ開催したか	記録表による集計	7プログラム	6プログラム	
		プログラム参加人数	何人の子どもがプログラムに参加したか	記録表による集計	6人	30人	
保護者支援	保護者の面談件数	保護者に対して、何件の面談を行なったか	記録表による集計	32件	---		
	専門サポートへのつなぎ件数	面談の結果から、何件のケースを適切な専門サポートにつないだか	記録表による集計	0件	---		
アウトカム	学力・学歴	高校進学率	どの程度の割合が高校に進学したか	高校進学者数/参加者数(中学3年生のみ)	100%	100%	
		高校中退率	どの程度の割合が高校を中退したか	中退者数/登録者数(高校年代)	---	3%	
		高校中退者の社会的自立率	中退した高校生の何割が教育機関、就労支援機関、福祉施設等の社会資源につながったか	社会資源へのつなぎ数/中退者数	---	100%	
		基礎学力	参加者の基礎学力がどの程度高まったか	参加時の学力診断テストの結果/期末時点の学力診断テストの結果	英語:1.0点 数学:8.8点	英語:10点 数学:10点	
	自尊心・意欲	学習意欲	参加したことで、学習、自己成長に対する意欲が高まったか	参加者アンケート (肯定回答割合)	84%	70%	
		努力意欲	参加したことで、努力したら報われるという意識が高まったか		67%	70%	
	ソーシャルスキル	社会規範	参加したことで、ルールやマナーを守る意識が高まったか		50%	70%	
		コミュニケーション力	参加したことで、多様な人とコミュニケーションする自信が高まったか		83%	70%	
	福祉依存 文化資本	自立への意欲	参加したことで、経済的な自立をしようという意識が高まったか		83%	70%	
		進学への意欲	参加したことで、進学しようという意識が生まれたか		66%	70%	
	健康状態・ 生活リズム	精神状態の改善	参加したことで、学校や生活の悩みが軽くなったか		66%	70%	
		社会への信頼	他者への信頼		参加したことで、人や社会への信頼感が高まったか	83%	70%
	ロールモデル	ロールモデル	スタッフやボランティアなどに、目標やあこがれとなる人が見つかったか		67%	50%	
	保護者との関係	関係性	参加したことで、親子の関係性が良くなったか		参加者アンケート・保護者アンケート	参加者:67%	参加者:60%
		将来の話し合い	参加したことで、将来について話し合う機会が増えたか			保護者:50%	保護者:60%
	保護者のストレス	子育ての話し合い	参加したことで、将来について話し合う機会が増えたか		保護者アンケート	67%	60%
		子育てのストレス	参加したことで、子育ての負担感が減ったか			67%	70%
	満足度	存在の受容	一人一人が大切にされたと感じているか		参加者アンケート	84%	70%
		活動への満足度	参加してよかったと感じているか		参加者アンケート・保護者アンケート	参加者:100%	参加者:90%
サポートへの満足度		スタッフ・ボランティアは適切なかかわり方や信頼関係の構築ができたか	保護者:100%			保護者:90%	
						参加者:100%	参加者:90%
						保護者:84%	保護者:90%

仙台市内のひとり親家庭を対象に高校進学にかかる費用に関する講座を開催した。

中1～3年生まで多くの方が参加できるように、時期をずらし平日夜間と休日日中のバリエーションで3日程。実施場所は仙台駅からアクセスが良く、駐車場を確保できるレインボーハウスを中心に実施した。

在籍中学校で実施された高校説明会での説明に理解が十分でなかった方やそもそも出席できず内容が分からなかった方などの参加もあった。

## 講座の概要

- 実施背景：
  - 「高校入試制度概要と進学費用やそれに関わる支援金制度」等の解説を実施。例年、アスイク参加家庭保護者からの質問が多く、中学1～2年生からの問い合わせが増えてきている内容であり、子どもの進路選択に関わる部分で保護者が最も心配する項目の一つである。親子間で進路選択の意見が食い違う際の論点の一つでもあるため、お互いに納得できる進路選択の一助となることを狙い、今回開催に至った。
- 実施協力：みやぎ生活協同組合 くらしと家計の相談室 副室長 向井優子氏
- 当日概要：

2017年9月30日 (土)	13:00~16:00	アスイク本部	14名
2017年10月25日 (水)	18:00~21:00	仙台レインボーハウス	8名
2016年11月11日 (土)	13:00~16:00	仙台レインボーハウス	8名

参加者合計：30名
- ※また上記以外に、欠席で不参加もしくは講座の内容を知りたいという方に資料送付を実施。(計6名)
- プログラム：
  - ▶宮城県の公立高校入試制度及び私立高校入試について
  - ▶高校進学費用について
  - ▶保護者茶話会

## 実施風景



費用講座の後半に行った茶話会を発展させる形で、ワークショップ形式でのピアカウンセリングを実施。

NPO法人育自の魔法で実施している、全3回の連続した体験型講座を展開。1ヶ月に1回のペースで各回を行なった。

## 講座の概要

## 実施風景

- 実施背景：
  - ひとり親家庭の場合、保護者一人で母役として、父役として、社会人として、地域住民としてなど複数の役割を担っている(担わざるを得ない)方が多くいる。場合によってはそうした役割が保護者の負担やストレス原因となっていることもあるため、それを一度自分自身と切り離してもらえる場を用意した。そうすることで家庭内の養育課題の抱え込み、子どもへの過干渉、ひいては虐待予防につながればという意図もある。
  - 「ひとり親家庭」という参加カテゴリーの枠内で、困ったこと、嬉しかったこと等の共有、助言、応援などが参加者同士で行われ、話す方も聞く方も「ひとりではない」という安心感やつながりを得てもらおうピアカウンセリングの効果も開催目的の一つである。
- 実施協力： NPO法人育自の魔法
- 当日概要：

Part1	2018年1月21日(日)13:00～16:00	仙台レインボーハウス	1名	(当日キャンセル3名)
Part2	2018年2月18日(日)13:00～16:00	アスイク本部	2名	(当日キャンセル1名)
Part3	2018年3月17日(土)11:00～16:00	アスイク本部	6名	

参加者数延べ9名(実数7名)
- プログラム：

Part1「人生を語ろう～過去～」	(人生曲線を描く、ほめほめシャワー)
Part2「好きを語ろう～現在～」	(好きな五感を伝え合う自己紹介、自分の好きなことを思いきり語る、ほめほめシャワー)
Part3「未来を描こう～未来～」	(宿題の感想・気づきをシェア、5年後の自分を絵で表す、ほめほめシャワー)



関係機関からの紹介、webサイトからの直接の問い合わせが増え、利用者が増加した。  
岩沼市、塩竈市、多賀城市など、仙台市外からの利用者也増加している。

## 概要

- 対象：中学生～高校生年代
- 開設時間：月～金 13:00～17:00
- 場所： 仙台市宮城野区榴岡4-5-2大野第2ビル2階
- 実施内容：

小学生～高校生年代の不登校の子どもたちを対象とした居場所の運営。子どもたちの希望する過ごし方を尊重し、オーダーメイドの活動を実施した。具体的には、学習支援、ゲーム等の遊び、パーティの開催、小物の制作、フリーマーケットでの出店、体育館での運動など。

教育委員会や学校とも連携し、子どもや保護者の情報共有、出席認定も実施。必要に応じて、深刻な家庭内の問題を抱える子どものソーシャルワークも行った。



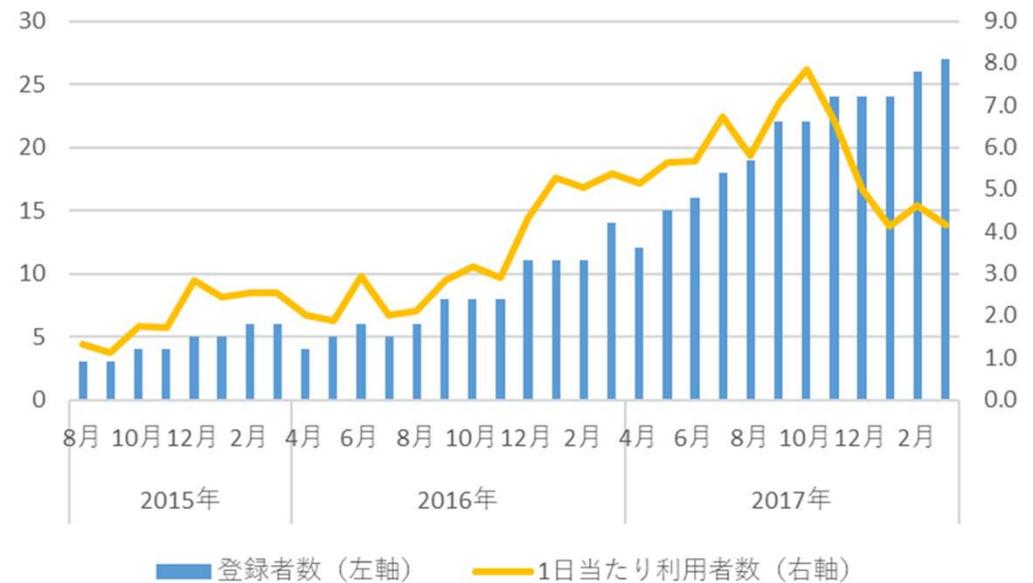
(加藤大臣の視察)



(格闘技体験)

## 実施結果

- 登録者数：27名
- 1日当たりの利用者数（下図）



前年度に引き続き、高い出席率を維持した。

## 概要

- 内容：  
被災・生活困窮世帯の子どもに対する被災者及び地域住民等による食事提供、交流。また、大学生等による宿題等のサポートも行うことで、子どもの参加率、若者の参加を促進した。
- 場所：みやぎ生協多賀城店集会室
- 日時：毎週金曜日17:00～20:30
- 参加費： 無料
- 参加対象：  
被災世帯及び生活困窮世帯の子ども、被災世帯の大人、地域の大学生等若者、その他地域住民



(近くの農家からの寄付)



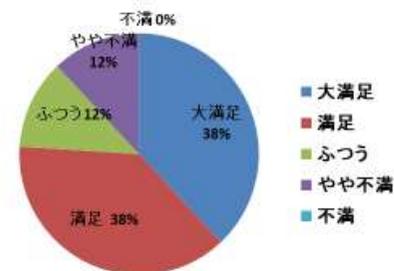
(食事後の交流)

## 実施結果

- 参加者数： 20名 (目標30名)
- 休止・退会率： 0% (目標15%未満)
- 出席率： 82% (目標80%以上)
- 居場所としての満足度：  
アンケートにおける肯定的回答率 76% (目標90%以上)

### 参加者アンケートの結果

1. 多賀城こども食堂に対して、総合的にどのくらい満足していますか。



「満足」と感じている人が **76%**

2. 参加する理由は何ですか。

- 子ども → 友達と遊べる、話せるのが楽しい
- 親 → 食事が楽しみ  
子どもが行きたがる  
他のお母さん、スタッフとの交流が楽しい  
ゆっくりできる

3. 参加するようになって、生活や精神面で何か変化はありましたか。(親)

- 金曜日が楽しみになった
- 心に余裕を持てるようになった
- 怒る事が減った
- 節約になっている
- スタッフに相談出来て参考になった

塩竈市子育て支援課、公益財団法人地域創造基金さなぶりと協働で、小学生の放課後の居場所づくりの担い手の発掘、立ち上げ、継続支援を行なった。

## ■ 講演会の開催

- ・ 日時：2017年11月3日（金・祝）13：30～16：30
- ・ 場所：ふれあいエस्प塩竈 学習室1
- ・ 参加者：20名（市内13名 市外6名）
- ・ 概要：
  - ①事業概要説明（塩竈市健康福祉部子育て支援課）
  - ②団体挨拶・事業背景説明（NPO法人アスイク）
  - ③講演 NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク  
栗林 知絵子 理事長  
子どもたちにとって放課後の居場所があることの大切さ
  - ④助成金説明会（公益財団法人地域創造基金さなぶり）

## ■ 勉強会の開催

- ・ <第1回>  
「子どもの居場所をつくる際、何から始めるといいのか？」  
参加者：9名
- ・ 第2回 2017年 11月22日（水）19:00～20:30  
「子どもの安全と居場所プログラムの実例」  
参加者：7名
- ・ 第3回 2017年 12月20日（水）19:00～20:30  
「活動の運営とボランティア獲得と実際」  
参加者：5名
- ・ 第4回 2018年 1月24日（水）19:00～20:30  
「広報・周知の方法 参加者集めをどのように行うか？」  
参加者：3名
- ・ 第5回 2018年 2月13日（水）19:00～20:30  
「食事提供プログラムを考える際の注意事項、メニュー」  
参加者：6名

- ・ 第6回 2017年 3月 6日（水）19:00～20:30  
「助成金申請を考えるにあたり、必要となる計画づくり」  
参加者：3名

## ■ 助成金の提供

- ・ 第1期として、3団体（プレーパーク、こどもカフェ、学習支援）の採択

## ■ 研修会の開催

- ・ 第1回 2018年 1月28日（日）10:00～17:00  
「本助成金において必要な事業管理・経理処理」他  
参加者：6名
- ・ 第2回 2018年 2月28日（水）18:00～20:30  
「第1回に実施した会計研修について、経理処理実務の進捗確認」他  
参加者：5名
- ・ 第3回 2018年 3月14日（水）18:00～20:30  
「事業報告書、会計報告書の作成にむけて」他  
参加者：4名



新規に2団体へ、「すらら」の導入・サポートを行なった。

項番	団体名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		利用者数											
3	ロージーベル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	まきばフリースクール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	ファミリーホーム子どもの家きむら	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	みやこサポステ教室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	ユースコミュニティー	13	14	15	16	17	31	24	18	13	13	14	11
14	ビーンズふくしま	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2
15	わたしと僕の夢	0	0	0	0	0	0	0	0				
16	みやぎくりはらこどもねっとわーく	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	もりおかユースポート	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0
18	NPO法人カローレ	14	17	11	50	34	34	35	36	35	37	36	36
19	NPO法人エンカレッジ	23	15	15	35	24	24	26	27	38	32	32	32
20	山形県母子寡婦福祉連合会	11	11	11	11	7	0	0	0				
21	★ NPO法人いるかねっ	0	0	0	32	38	29	44	36	36	36	36	36
22	★ 山形県ひとり親家庭福祉会						7	7	7	7	7	7	7
利用者数		65	61	56	148	123	128	139	126	131	127	127	124
団体数		12	12	12	13	13	13	13	13	13	13	13	13
1団体あたり利用者数		5.4	5.1	4.7	11.4	9.5	9.8	10.7	9.7	10.1	9.8	9.8	9.5

★：新規

ボランティアやスタッフのサポート力向上や子どもの理解を深めるために、集合型の研修の場を設けた。（全事業の同時開催）

No.	研修名	実施協力（敬称略）	日時	場所	参加人数
1	キックオフ総会・研修会	(株)アライブ・ワン 後藤美香	6月11日	レインボーハウス	88
2	第2回スタッフ全体研修会	NPO法人Switch 小野彩香／システムコーチ 佐藤扶由夫 島崎湖	9月18日	レインボーハウス	88
3	第3回スタッフ全体研修会	(株)アライブ・ワン 後藤美香／公益社団法人子どもの貧困対策センターあすのば 小河光治	11月23日	レインボーハウス	92
4	第4回スタッフ全体研修会	地域デザインラボ 遠藤智栄／公益社団法人子どもの貧困対策センターあすのば 工藤鞠子、石川昴、深堀麻菜香	3月4日	せんだい市民活動サポートセンター	95



※ 上記の他、相談支援スタッフ対象のスーパービジョン、広域ユニット（宮城県・岩沼市・白石市）対象のスーパービジョンを毎月開催。  
 ※ また、外部研修受講奨励制度を導入し、本部職員の能力向上を支援。

## その他：講演・講師、執筆・委員の実績

### 講演・講師

- ◆ 東北大学経済学部 ゲスト講師
- ◆ こども食堂全国キャラバンinみやぎ パネリスト
- ◆ 宮城大学 ゲスト講師
- ◆ 北海道・東北地連『「子どもの貧困」に関する研究会』の報告・学習会 講師
- ◆ みやぎ生協専門委員会学習会 講師
- ◆ 第2回国際ソロプチミストアメリカ日本北リジョン研修会 講演
- ◆ 大正大学地域創生学部 講師
- ◆ ママパライン仙台ボランティア研修 講師
- ◆ 仙台市協働の事例集制作プロジェクト・公開座談会 パネリスト
- ◆ 第10回虐待防止県北シンポジウム パネリスト
- ◆ 名古屋市中学生の学習支援コーディネーター事業 講師
- ◆ 仙台商工会議所事業創造委員会 講師
- ◆ 太白区・東北工業大学共同開講講座 講師
- ◆ せんだいみやぎNPOセンター20周年イベント パネリスト
- ◆ JICAノンフォーマル教育研修 講師
- ◆ 株式会社スピーディア社内研修 講師
- ◆ 河北新報「次世代塾」 講師
- ◆ 仙台市社会福祉協議会「せんだい子ども応援団体ネットワークミーティング」 講師
- ◆ 内閣府「子供の貧困マッチングフォーラム」 パネリスト

### 委員等

- ◆ 仙台市協働まちづくり推進委員会 副委員長
- ◆ サポセン機能強化業務に関する委託業者選定のための審査委員会 審査委員
- ◆ 仙台市市民活動サポートセンター 事務用ブース使用団体審査会 審査委員

### 表彰

- ◆ 日本青年会議所人間力大賞「会頭特別賞」受賞
- ◆ ウェイクアップアワード 受賞



# その他：メディアでの紹介

- 仙台経済界 4月号                      子ども食堂で早期発見目指す
- NHK・毎日新聞・河北新報6月9日    子ども食堂全国キャラバンinみやぎ
- 仙台青年会議所「のぞみ」              巻頭理事長対談
- 河北新報7月15日                      仙台市長選「候補者に言いたい」
- みやぎ生協「Rakume」7月号        宮城県の現状とアスイクの活動
- NPO学会ニューズレター              代表理事のインタビュー記事
- 河北新報11月24日                      虐待の現状認識深める
- 日本テレビnews every.12月8日      『政府が政策発表「教育無償化」格差解消は？』
- 河北新報12月24日                      子どものたより場プロジェクト「ひのき進学塾×アスイク×子どものたより場 コラボ企画」
- 河北新報3月2日                        次世代塾第13回講座「悩み抱える子支える」

